

資源評価調査委託事業（海洋環境）
太平洋定線観測（要約）

今村豊・永峰文洋

目 的

青森県太平洋海域における海況情報を収集し、漁業者等に提供する。

材料と方法

青森県の太平洋定線において3月、6月、9月、12月の各月1回、seabird社製CTD・911plusによる表層から最深1000mまでの水温と塩分の測定、採水による塩分、クロロフィルの測定、プランクトン、卵稚仔の採取を実施し、各流勢指標について平年（1963～2014年平均値）と比較した。また、収集・分析した情報は、ウオダス漁海況速報や当研究所のホームページ等を通じて公表した。

結 果

定線観測結果を下表に示す。

3月は、津軽暖流の各層水温は0m層、50m層が「やや高い」、100m層が「かなり高い」、水塊深度は「やや深い」、津軽暖流の東方への張り出しは「平年並み」であった。

6月は、津軽暖流の各層水温は0m層が「平年並み」、50m層、100m層が「やや高い」、水塊深度は「平年並み」、津軽暖流の東方への張り出しは「やや弱い」であった。

9月は、津軽暖流の各層水温は、0m層、50m層が「平年並み」、100m層が「やや高い」、水塊深度は「平年並み」、津軽暖流の東方への張り出しは「平年並み」であった。

12月は、津軽暖流の各層水温は0m層、50m層、100m層共に「平年並み」、水塊深度は「やや深い」、津軽暖流の東方への張り出しは「はなはだ強い」であった。

表 観測結果から算出した平年比（平年比%：平年偏差／標準偏差×100）

観測項目（平年比）	3月	6月	9月	12月	階級	平年比の範囲
各層最高水温（℃）	0m	+102	-59	-39	-1	平年並み ±60%未満
	50m	+117	+95	+57	+3	や や ±130%未満
	100m	+143	+86	+121	+12	か な り ±200%未満
水塊深度（m）	+78	-52	+48	+118	はなはだ	±200%以上
張出位置（東経）	-37	-94	-1	+493		